

様式1(主な取組)

活動指標名	地域連携クリティカルパス導入圏域数(がん)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	5	5	5	5	5	5	100.0%	10,400	順調	<p>県医師会が構築する地域連携クリティカルパス(おきなわ津梁ネットワーク)について、ホームページ等を活用して加入促進のための普及啓発を支援した結果、加入登録者数が前年度から2,354人増加し61,654人となった。(※見込み)</p>
活動指標名	地域連携クリティカルパス導入圏域数(糖尿病)				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	1	1	1	1	1	1	100.0%			
活動指標名	地域連携クリティカルパス導入圏域数(脳卒中)				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	3	3	3	5	5	5	100.0%			
活動指標名	ネットワーク加入登録者数				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	39,205	45,430	55,591	59,300	61,654	65,000	94.8%			

(2)これまでの改善案の反映状況

令和3年度の取組改善案	反映状況
<p>・閲覧側の医療機関において、電子カルテ端末等からのアクセスが可能となる仕組みが構築されたことについて、県のホームページ等でも幅広く広報する。 さらに、おきなわ診療ネットワーク推進のためのモデル地区構想を進めており、その内容を今後検証のうえ、全地区へ取組を加速させる。</p>	<p>・県のホームページ等において取組の周知等を実施した。 ・おきなわ津梁ネットワークの今後の活用方法等について、関係者間で意見交換等を実施した。</p>

様式1(主な取組)



3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・おきなわ診療ネットワークは、医療機関等を対象としたネットワークの構築であるため、新型コロナウイルス感染拡大の影響を直接受けており取組が遅延した。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルスの感染拡大により、医療機関、患者双方のネットワーク加入促進に影響を生じた。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・電子カルテ情報の開示医療機関(17病院)は既存端末からネットワークの参照、データの自動連携が可能となるなど、運用負担がかなり軽減されているが、閲覧側の病院や診療所は、専用端末の設置等による二重入力・転記やセキュリティ強化によるアクセス迄の手順が煩雑になるなど、普段の業務に更なる負担がかかることの煩わしさにより、利用促進に至っていないため、改善が必要である。



4 取組の改善案 (Action)

・閲覧側の医療機関において、電子カルテ端末等からのアクセスが可能となる仕組みが構築されたことについて、県のホームページ等でも幅広く広報する。さらに、おきなわ診療ネットワーク推進のためのモデル地区構想を進めており、その内容を今後検証のうえ、全地区へ取組を加速させる。

様式1(主な取組)

活動指標名	「おきなわがんサポートハンドブック」発行部数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	20,000部	25,000部	25,000部	25,000部	25,000部	—	100.0%	9,200	順調	治療費についての公的助成制度、相談支援を行う施設、セカンドオピニオンに関することなどを掲載した地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」を25,000部作成し、医療機関を通して患者等へ配布した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			当初の計画通り「おきなわがんサポートハンドブック」を25,000部作成し、医療機関を通して患者等へ配布した。 これによりがん患者等に対し、がんに関する正しい情報・知識を提供することができた。
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・がんサポートハンドブックの作成にあたり、がん情報の最新性、正確性を確保するとともに、読み手の視点から利用しやすい冊子とするため、情報の掲載方法等について引き続き検討する必要がある。</p>						<p>・委託先である琉球大学病院を中心に、県内関係医療機関、患者会、社会保険労務士等有識者とハンドブックの内容について事前に検討を行い、時点修正や見やすさの工夫を重ねた。</p> <p>・ハンドブックは、希望あれば配布する旨を周知したところ、医療機関の他にも各種団体やイベント主催者等から配布の希望があり、提供された。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・がんサポートハンドブックが読み手の視点から利用しやすい冊子となるよう、引き続き、患者会を含む様々な関係者から編集への協力を得る必要がある。

○外部環境の変化

・ハンドブック活用促進のため離島・へき地を中心に開催しているがん情報講演会が、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ハンドブックの作成については、医療従事者やがん患者関係者、社会保険労務士等有識者・関係者と連携を図り、患者やその家族などの意見等を踏まえ、医療施設や患者会に関わる情報や、患者への経済的・社会的支援に関わる情報の時点修正を行い、正確な情報を提供する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ハンドブックの作成については、医療従事者やがん患者関係者、社会保険労務士等有識者・関係者と連携を図り、患者やその家族などの意見等を踏まえ、医療施設や患者会に関わる情報や、患者への経済的・社会的支援に関わる情報の時点修正を行い、正確な情報を提供する必要がある。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進	施策	① 医療提供体制の充実・高度化
			施策の小項目名	○医療提供体制の整備
主な取組	へき地診療所施設整備等補助事業費			
対応する主な課題	①近年は、生活習慣病などの慢性的な病気が中心となっており、病気の治療が長期化する傾向にある。また、医療技術や医療施設の高度化など医療の質への関心が高まっていることなどに対応した医療提供体制の充実・高度化が求められている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
離島・へき地における安定的な医療の確保を図るため、診療所の施設整備を行う市町村に対し補助を行う。						
実施主体	県、市町村	へき地離島診療所施設整備				
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課 【098-866-2111】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
									一括交付金(ハード)	補助
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	

様式1(主な取組)

活動指標名	補助移設整備に向けた取組				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	22,398	順調	令和3年度は粟国村から、へき地診療所整備(歯科)に対する補助の要望を受け実施した(令和2年度繰越)。 令和4年度は、診療所を運営している市町村に対して、診療所の施設整備を行う予定及び当該事業の活用の有無を照会したが、市町村から活用要望がなかった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										平成27年度以降は市町村からの要望はなかったが、令和2年度には粟国村から要望を受けた。 令和4年度の要望はなかったため、市町村が運営する診療所の施設は現在、すべて整備が完了しており、離島・へき地における安定的な医療の確保が図られている。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに事業遂行できるよう県と市町村、沖縄県歯科医師会等の関係機関と調整会議を定期的開催し、入札状況や施工計画の進捗管理の徹底を図る。また、原材料高の影響による入札不調や天候の悪化等による資材搬送の遅れに伴い、工事の長期化が懸念される場合には、市町村と連携し、施工計画の見直しを行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症や軽石の影響等を受け、工事の遅延、長期化が懸念されたが、さほど影響はなかった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

- ・令和2年度から令和3年度の繰越で粟国村のへき地診療所(歯科)の整備を実施した。整備対象施設が離島やへき地にあるため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすく、例年以上に資材確保に時間を要するほか、近年の建築関係工事の人材不足、原材料高の影響による工事の遅延が懸念されたが、さほど影響は受けなかった。
- ・令和4年度については、施設整備を要望する市町村がなかったことから実施予定はない。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・毎年度、市町村の要望を確認するとともに、過去に実施した離島、へき地地域における施設整備等の公共工事に関する前例を確認し、工期や各地域の個別状況に留意する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・計画通りに事業遂行できるよう県と市町村、沖縄県歯科医師会等の関係機関と調整会議を定期的を開催し、入札状況や施工計画の進捗管理の徹底を図る。また、原材料高の影響による入札不調や天候の悪化等による資材搬送の遅れに伴い、工事の長期化が懸念される場合には、市町村と連携し、施工計画の見直しを行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進	施策	① 医療提供体制の充実・高度化
			施策の小項目名	○医療提供体制の整備
主な取組	地域がん診療拠点病院機能強化事業			
対応する主な課題	①近年は、生活習慣病などの慢性的な病気が中心となっており、病気の治療が長期化する傾向にある。また、医療技術や医療施設の高度化など医療の質への関心が高まっていることなどに対応した医療提供体制の充実・高度化が求められている。 ③島嶼県である沖縄においては、各医療圏毎に医療を取り巻く状況が異なり、特に離島・僻地においては、地域のみで十分な救急医療を提供できない場合があるため、沖縄本島の医療機関と離島診療所等との救急医療の連携体制を整備・拡充することが求められる。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
がん医療の均てん化（県内全域のがん診療体制の機能強化）を図り、質の高いがん医療を提供できるようにするために、一定の要件を満たす医療機関をがん診療連携拠点病院として整備する。		6箇所 補助件数				
実施主体	県、がん診療連携拠点病院等					
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課 【098-866-2209】					
		がん診療連携拠点病院等への補助				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	地域がん診療連携拠点病院機能強化事業費	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
							当初予算額	主な財源	OR3年度： 各圏域においてがん診療の中核を担う医療機関への補助（6箇所：県5箇所、国1箇所）を行い、がん医療提供体制の維持・強化を図った。
各省計上	補助	43,697	42,815	37,374	41,310	43,106	41,800	各省計上	OR4年度： 各圏域においてがん診療の中核を担う医療機関への補助（6箇所：県5箇所、国1箇所）を行い、がん医療提供体制の維持・強化を図る。
予算事業名	—								
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
							当初予算額	主な財源	OR3年度： —
		—	—	—	—	—	—		OR4年度： —

様式1(主な取組)

活動指標名	がん診療連携拠点病院等への補助件数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	100.0%	43,106	順調	活動概要 各圏域においてがん診療の中核を担う医療機関へ補助を行い、がん医療提供体制の維持・強化を図った。 1 都道府県がん資料連携拠点病院 1箇所 2 地域がん診療連携拠点病院 2箇所 3 地域がん診療病院 3箇所 ※1は国が直接補助 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 各圏域において中核となる地域がん診療連携拠点病院2箇所、地域がん診療病院3箇所に対して補助金を交付した。県内には県が補助金を交付する拠点病院等5箇所のほか、国が直接補助を行う都道府県がん資料連携拠点病院が1箇所あり、がん医療提供体制の維持や充実・強化が図られた。
活動指標名	—				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
・沖縄県がん診療連携協議会や拠点病院担当者会議等をとおして、関係機関と引き続き指定要件の充足に向けた情報共有や意見交換を行い、がん医療連携体制の充実・強化を図る。						・沖縄県がん診療連携協議会や拠点病院担当者会議等をとおして、関係機関と引き続き指定要件の充足に向けた情報共有や意見交換を行い、がん医療連携体制の充実・強化を図った。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ 沖縄県がん診療連携協議会（琉球大学病院主催）への出席や、拠点病院担当者会議等の開催により、引き続き関係機関との情報共有を図る必要がある。

○外部環境の変化

・ 拠点病院等の指定に係る国の整備指針の要件には、人員配置に係る要件もあり、人事異動等に配慮しながら要件を充足できるよう引き続き取り組む必要がある。
・ 新型コロナウイルス感染症の流行下においても、研修会の開催など指定要件の充足に影響がないよう情報共有を図りながら、がん医療提供体制の維持及び強化を図る必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 拠点病院等の指定に係る国の整備指針の要件を充足するよう、人材育成や充足状況の確認等に引き続き取り組む必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 沖縄県がん診療連携会議や拠点病院担当者会議等をとおして、関係機関と引き続き指定要件の充足に向けた情報共有や意見交換を行い、がん医療連携体制の充実・強化を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進	施策	① 医療提供体制の充実・高度化
			施策の小項目名	○医療提供体制の整備
主な取組	沖縄医療施設等施設整備事業			
対応する主な課題	①近年は、生活習慣病などの慢性的な病気が中心となっており、病気の治療が長期化する傾向にある。また、医療技術や医療施設の高度化など医療の質への関心が高まっていることなどに対応した医療提供体制の充実・高度化が求められている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制の確保を図るとともに、医療施設における患者の療養環境及び医療従事者の職場環境の改善並びに医療従事者の養育力の充実を図るため、老朽化等に併建で替える医療機関の整備費用に対し補助を行う。		1箇所 補助施設数	→		1箇所 補助施設数	→
実施主体	県、医療機関	医療機関に対する施設整備補助			医療機関に対する施設整備補助	
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課	【098-866-2111】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 沖縄医療施設等施設整備事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 建替を行う医療機関の要望に基づき、整備費用の補助を行った。	
一括交付金(ハード)	補助	638,922	478,166	0	478,167	344,757	3,301,518	一括交付金(ハード)	OR4年度： 建替を行う医療機関の要望に基づき整備費用の補助を行う。	

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：	
									OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	補助施設数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	1	1	0	1	1	1	100.0%	344,757	順調	老朽化に伴う建替を計画する医療機関に対し、施設整備にかかる費用の補助を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										1 医療機関の移転新築に要する費用に対して補助を行うことにより、当該地域における良質かつ適正な医療を効果的に提供する体制の確保につなげることができた。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 県と補助事業者が綿密な調整のうえで作成した事業計画に基づき適正な事業の実施を図るとともに、新型コロナウイルスの感染状況などの外的要因を踏まえて定期的な進捗管理や見直しを徹底する。 						<ul style="list-style-type: none"> 県と補助事業者の綿密な調整のもと、定期的な進捗管理や事業期間の見直しを実施した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・県と補助事業者が綿密かつ定期的な調整を行うことで事業計画に基づく適正な事業実施を図り、良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制の確保に繋げる。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、施工現場での感染防止対策に伴うスケジュールの見直し、建築用資機材の調達の遅れなどが問題となっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・県と補助事業者が綿密かつ定期的に調整を行い事業計画に基づく適正な事業実施を図り、良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制の確保に繋げる必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・県と補助事業者が綿密な調整のうえで作成した事業計画に基づき適正な事業の実施を図るとともに、新型コロナウイルスの感染状況などの外的要因を踏まえて定期的な進捗管理や見直しを徹底する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進	施策	① 医療提供体制の充実・高度化
			施策の小項目名	○医療提供体制の整備
主な取組	沖縄県地域医療構想の推進			
対応する主な課題	①近年は、生活習慣病などの慢性的な病気が中心となっており、病気の治療が長期化する傾向にある。また、医療技術や医療施設の高度化など医療の質への関心が高まっていることなどに対応した医療提供体制の充実・高度化が求められている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
第7次沖縄県医療計画で掲げる取り組みの着実な実施及び病床の機能分化・連携や在宅医療の充実等を図るため、県内5つの圏域（北部、中部、南部、宮古、八重山）ごとに開催する地区医療提供体制協議会等の協議の場で、医療機関、医師会等の医療関係団体、市町村等による協議を進める。						
実施主体		県、市町村、医療機関				
担当部課【連絡先】		保健医療部医療政策課 【098-866-2111】				
		各構想区域ごとに医療機関相互の協議を進め、効率的で質の高い医療提供体制の維持、確保に向けた取り組みを推進				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	医療計画推進会議等運営事業費						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 第7次沖縄県医療計画（沖縄県地域医療構想を含む）の推進
県単等	直接実施	10,693	8,636	7,823	8,028	15,579	17,622	県単等	OR4年度： 第7次沖縄県医療計画（沖縄県地域医療構想を含む）の推進
予算事業名	-						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： -
		-	-	-	-	-			OR4年度： -

様式1(主な取組)

活動指標名	地区医療提供体制協議会等の開催回数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	19	12	5	2	7	—	100.0%	15,579	順調	<p>病院、有床診療所、医療関係団体等が参加する地区医療提供体制協議会を県内4圏域で開催し、回復期機能の病床整備など地域の実情に応じて必要な協議を行った。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>令和2年度に実施を予定していた第7次沖縄県医療計画の中間評価については、新型コロナウイルスの感染拡大への対応等のため、令和3年度に先送りとなった。令和3年度において、疾病分野別の中間評価を実施し、地域の疾病構造や医療提供体制について把握し、その充実・確保を進めていくことを確認した。</p>
活動指標名	県医療提供体制協議会部会の開催回数				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	36	0	10	0	16	—	100.0%			
活動指標名	—				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—	—			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・県医療提供体制協議会及び5疾病5事業及び在宅医療の各疾病分野に係る部会において、有識者からの意見を聴取し、第7次沖縄県医療計画の中間評価を実施するとともに、二次医療圏ごとに開催する地区医療提供体制協議会において、病床機能別、疾病分野別に協議を進める。</p>						<p>・県医療提供体制協議会及び5疾病5事業及び在宅医療の各疾病分野に係る部会において、有識者からの意見を聴取し、第7次沖縄県医療計画の中間評価を実施した。</p> <p>・二次医療圏ごとに開催する地区医療提供体制協議会においては、病床機能別の協議を進めた。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

- ・ 沖縄県は高齢化率の伸びが全国上位にあるため、今後、概ね高齢化率の高まりとともに、必要量が増える病床の不足が生じる恐れがある。
- ・ 県内の5圏域全てにおいて、4つの病床機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）のうち、特に回復期病床が不足している。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、感染症病床以外の一般病床の確保に影響を来している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 第7次沖縄県医療計画では、5疾病5事業及び在宅医療に関する必要な施策等を定めており、構想で定める病床機能の分化・連携の推進等に加えて、疾病ごとの適切な医療提供体制について協議を進める必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 県医療提供体制協議会及び5疾病5事業及び在宅医療の各疾病分野に係る部会において、有識者からの意見を聴取し、第7次沖縄県医療計画の中間評価を実施するとともに、二次医療圏ごとに開催する地区医療提供体制協議会において、不足する病床機能についての協議を進めた。
- ・ 中間評価を実施し、把握した地域の疾病構造や医療提供体制についてその充実・確保を進めるとともに、不足する病床機能を確保し、医療提供体制の充実を図る。

様式1(主な取組)

活動指標名	公立沖縄北部医療センター整備協議会等の開催				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	-	3回	3回	3回	100.0%	37,492	順調	<p>活動概要</p> <p>県、北部12市町村、北部地区医師会及び琉球大学病院で構成する公立沖縄北部医療センター整備協議会において、公立沖縄北部医療センターの基本的枠組みの詳細その他公立沖縄北部医療センターの整備に関して必要な事項を協議し、公立沖縄北部医療センターの早期整備を図る。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>令和3年度は、計画どおり整備協議会を3回開催した。 整備協議会においては、病院の設計に当たった条件の整理を行う整備基本計画の協議を主に行い、令和4年3月に整備基本計画を策定した。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・建設予定地が農業大学校移転後の敷地となるため、土壌汚染調査、施設の解体撤去、土地購入手続等において、関係部局と調整を図る。
- ・病院の設置主体となる一部事務組合について、令和5年4月の設置に向けて、県及び北部12市町村各議会で組合設立議案の議決が必要となる。
- ・医療従事者の確保を効果的に行うための検討体制を構築する必要がある。

○外部環境の変化

- ・整備予算の財源確保に向けて、内閣府と引き続き調整を進めていくことが課題となっている。
- ・近年、建築コストが上昇傾向にあるため、その動向を注視するとともに、初期投資をできるだけ抑える観点から整備手法を検討する必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・公立沖縄北部医療センターの整備に関して、県、北部12市町村、県立北部病院、北部地区医師会病院及び琉球大学病院と関係機関が多数あり、また地域住民にとっても関心の高い事業であることから、できるだけ多くの市町村・病院関係者や地域住民から幅広く意見を取り込み、いつでも安心して満足できる医療を提供し、地域住民から信頼される病院整備に取り組む。

4 取組の改善案 (Action)

- ・計画どおりに事業遂行できるよう県、北部12市町村、県立北部病院、北部地区医師会病院等の関係機関と調整会議を定期的を開催するとともに、あわせて住民説明会も実施する。
また、公立沖縄北部医療センター整備基本計画の策定過程で協議した内容を十分に反映させた基本設計を行い、北部医療圏における基幹病院としての役割を果たすことのできる施設を整備する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進	施策	① 医療提供体制の充実・高度化
			施策の小項目名	○がん患者・家族等の支援体制の充実
主な取組	がん患者・家族等支援体制の強化			
対応する主な課題	①近年は、生活習慣病などの慢性的な病気が中心となっており、病気の治療が長期化する傾向にある。また、医療技術や医療施設の高度化など医療の質への関心が高まっていることなどに対応した医療提供体制の充実・高度化が求められている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
沖縄県地域統括相談支援センター及びがん診療連携拠点病院等において、がん体験のある相談員（がんピアサポーター）による相談支援を行うとともに、がんに関する情報提供等を行う。		6箇所：がん診療連携拠点病院等の相談窓口数 →				
実施主体	県、がん診療連携拠点病院等					
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課 【098-866-2209】					
		がん相談支援センター等における電話相談・対面相談				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	地域統括相談支援センター事業等						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
各省計上	委託	9,015	8,750	8,868	7,333	8,800	8,800	各省計上	OR3年度：がんピアサポーターによる相談業務を行うとともに、がんピアサポーター研修等を実施する。 OR4年度：がんピアサポーターによる相談業務を行うとともに、オンラインを活用したがんピアサポーター研修等を実施する。
予算事業名	がん患者等妊よう性温存療法研究促進事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
各省計上	直接実施	—	—	—	—	3,759	3,759	各省計上	OR3年度：がん患者等に対して妊よう性（妊娠する力）温存治療に要する費用を助成する。 OR4年度：がん患者等に対して妊よう性（妊娠する力）温存治療に要する費用を助成する。

様式1(主な取組)

活動指標名	がん診療連携拠点病院等の相談窓口数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	100.0%	12,559	順調	がん診療連携拠点病院等の相談窓口を6箇所設置し、がんピアサポーターによる相談業務を78件実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ピアサポーターの更なる資質向上のため、養成研修修了者を対象とするフォローアップ研修養成を継続的に実施する。 那覇公共職業安定所が主体となって進める「長期療養者就職支援事業」や、沖縄労働局主催の「沖縄県地域両立支援推進チーム」に参画することで、がん患者の就労支援の強化に努める。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインを活用し、がんピアサポーターフォローアップ研修を開催した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・がんピアサポーターの養成に加え、同サポーターの資質向上を図るための取組みが引き続き必要と思われる。

○外部環境の変化

・国の「がん対策推進基本計画」(平成29年10月)において、ピア・サポートの普及を図ることが施策として定められた。

・県内のがん罹患数は増加傾向にあり、相談支援のニーズは高まりつつあると思料される。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・国の「がん対策推進基本計画」(平成29年10月)において、ピア・サポートの普及を図ることが施策として定められ、その普及にあたりがんピアサポーターの資質向上に係る取組も必要である。

4 取組の改善案 (Action)

・がんピアサポーターの更なる資質向上のため、養成研修修了者を対象とするフォローアップ研修養成を継続的に実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	補助市町村数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	13	15	15	15	15	18	83.3%	17,916	概ね順調	離島患者の島外の医療施設への通院に要する経済的負担を軽減し、適切な医療を受ける機会を確保するため、有人離島を有する18市町村へ離島患者等支援事業の周知を図った結果、15市町村が本事業を活用し、住民の負担軽減を図った。	
活動指標名					R3年度						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	対象18市町村中15市町村が本事業を活用することにより、離島患者等が島外へ通院する際の経済的負担を軽減し、良質かつ適切な医療を受ける機会を確保した。 なお、残り3市町村については、住民のニーズがないか少額であるため県の補助事業を活用していない。
活動指標名					R3年度						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				

(2)これまでの改善案の反映状況

令和3年度 of 取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に最も身近な市町村の理解を深めるため、市町村との意見交換の場を継続して確保する。 ・事業の適正な執行管理に努めるとともに、宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動等を踏まえた適切な補助を行うことで、市町村の負担軽減を図り、離島患者等に対する助成の拡充を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市町村説明会は開催中止としたが、書面による要望調査を実施し、市町村のニーズの把握に努めた。 ・今年度から実績報告を年2回に分けて実施することで、補助申請漏れを防止するとともに、審査業務を分散させることで事業の適正な執行を図った。



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・関係市町村による離島患者等に対する助成が促進し、離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを踏まえた柔軟かつ効率的な対応を行う。
- ・市町村による離島患者等への助成の拡充を促進する。

○外部環境の変化

- ・新たな病院・診療所の設立により、島内での治療が可能になっていないか、関係市町村と連携し、定期的に調査を行い、事業の適正化に努める。
- ・宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動を踏まえて、適切な補助を行っていく必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを的確に把握するため、地域住民に最も身近な市町村との意見交換等を定期的に行う必要がある。
- ・市町村の財政負担及び事務負担の軽減を図ることにより、市町村の離島患者等への助成拡充を促す必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・地域住民に最も身近な市町村の理解を深めるため、市町村との意見交換の場を継続して確保する。
- ・事業の適正な執行管理に努めるとともに、宿泊費や航空運賃、船舶運賃の変動等を踏まえた適切な補助を行うことで、市町村の負担軽減を図り、離島患者等に対する助成の拡充を促進する。